

埋蔵文化財発掘調査ニュースNo.14

しん と しん こう えん ない い せき
新都心公園内の遺跡



2007年2月

那覇市教育委員会

新都心公園内の遺跡発掘調査ニュース

1. はじめに

今回紹介する七つの遺跡は、那覇新都心地区に所在します（第1図）。

同地区は、沖縄県那覇市の北西部に位置する約214ヘクタールもの広大な地域で、先の大戦後、米軍によって接収され、俗に「天久解放地」と称された地域です。

ここでは、その那覇新都心のほぼ中央に位置する「新都心公園」の整備に伴って発掘調査が実施された遺跡の概要を紹介します。

公園整備事業は、1995（平成7）年度に工事が着手されました。その面積は18ヘクタールで、銘苅古墓群南地区の一部が所在する総合公園は、2005（平成17）年度に、「新都心公園」としてその名称が正式決定し（第2図）、区画整理地内の「市民に親しまれ、地域の活性化に役立つ」公園として期待されます（2005年5月7日付け琉球新報朝刊より）。

2. 遺跡の概要

銘苅古墓群南G地区

大きな亀甲墓である伊是名殿内の墓を含む24基の古墓群の発掘調査が1996（平成8）年度に実施されました。24基の古墓は、そのほとんどが小振りの掘込墓です。その中で、第10号墓と第24号墓（伊是名殿内の墓）は亀甲墓、第23号

墓が囲込岩陰墓です。出土遺物としては、人骨を納める蔵骨器をはじめ、銭貨、煙管、沖縄産陶器などの副葬品が多数得られています。

銘苅原遺跡

湧水「スグルクガー」の対岸に位置する遺跡です。1997（平成9）年度に発掘調査が実施されました。遺跡の本体部分は、区画整理事業に伴って調査が実施されています。今回は、遺跡の縁辺部の調査となりましたが、グスク時代の土器や中国産の陶磁器が数多く得られ、大きな成果をあげました。

銘苅原南遺跡

前述の銘苅原遺跡の南側に位置する遺跡で、同年度に発掘調査が実施されています。遺跡は、銘苅川（メカルガーラ）と大湾川（オオワンガーラ）の合流する付近に立地しています。その立地から、浸水などの被害を被り、調査は難航しました。約100m離れた銘苅原遺跡との間で出土した遺物の接合ができたことは興味深い成果です。

銘苅直禄原遺跡

大湾川（オオワンガーラ）沿いの湿地帯に立地する遺跡で、1998（平成10）年度に発掘調査が実施されています。調査の最大の成果は、従来は腐食して発見されにくい木製品が数多く出土したことです。特に、グスク時代の社会背景をうかがわせる木筒や工具の柄と見られる資料が注目されました。これら遺跡の重要性が、現

地説明会の実施や、マスコミ報道につながり、多くの市民の関心が集まりました。

銘苧港川原遺跡

多和田川（タータガーラ）沿いの東岸に立地する沖縄貝塚後期～グスク時代の遺跡で、1999（平成11）年度に発掘調査が実施されました。先に紹介した「銘苧原南遺跡」と類似した谷地地形に形成された遺跡です。ふいごの羽口が出土したことから鍛冶関連の遺構の存在も示唆されています。台地上に立地する主体遺跡と谷地状地形に立地する遺跡とでは、どのような遺跡の性格の相違があるか今後注意されます。

銘苧古墓群北D地区

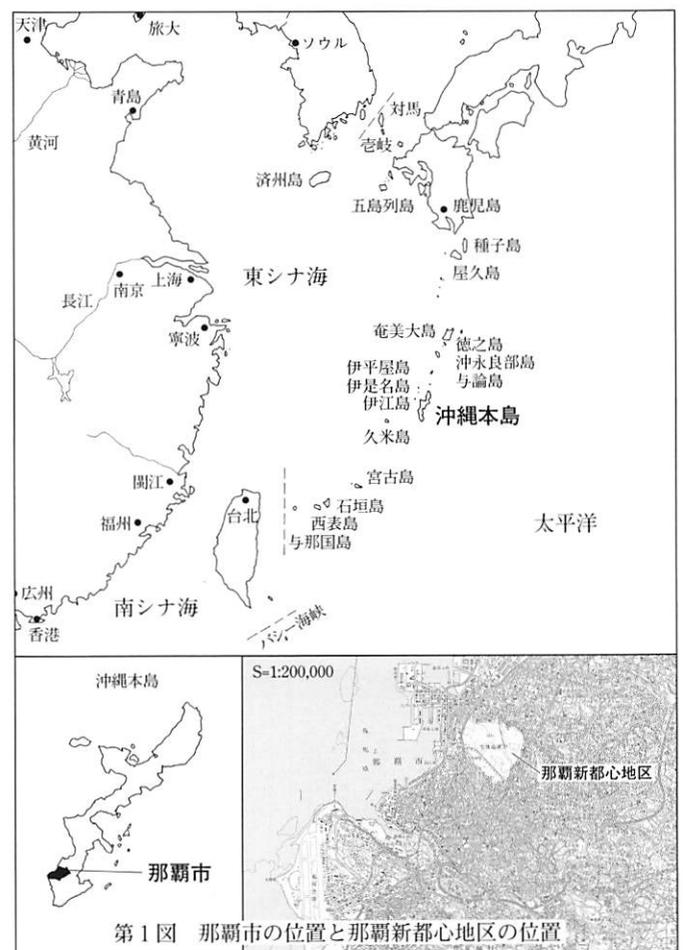
多和田川（タータガーラ）沿いに形成された13基を対象とした調査が2001（平成13）年度～2002（平成14）年度にかけて実施されています。第32・33号墓からは、当時納骨された状態の蔵骨器が確認され、その詳細を図化し、報告しています。那覇新都心地区に所在する古墓群の調査において初めて示された成果です。

銘苧古墓群北E地区

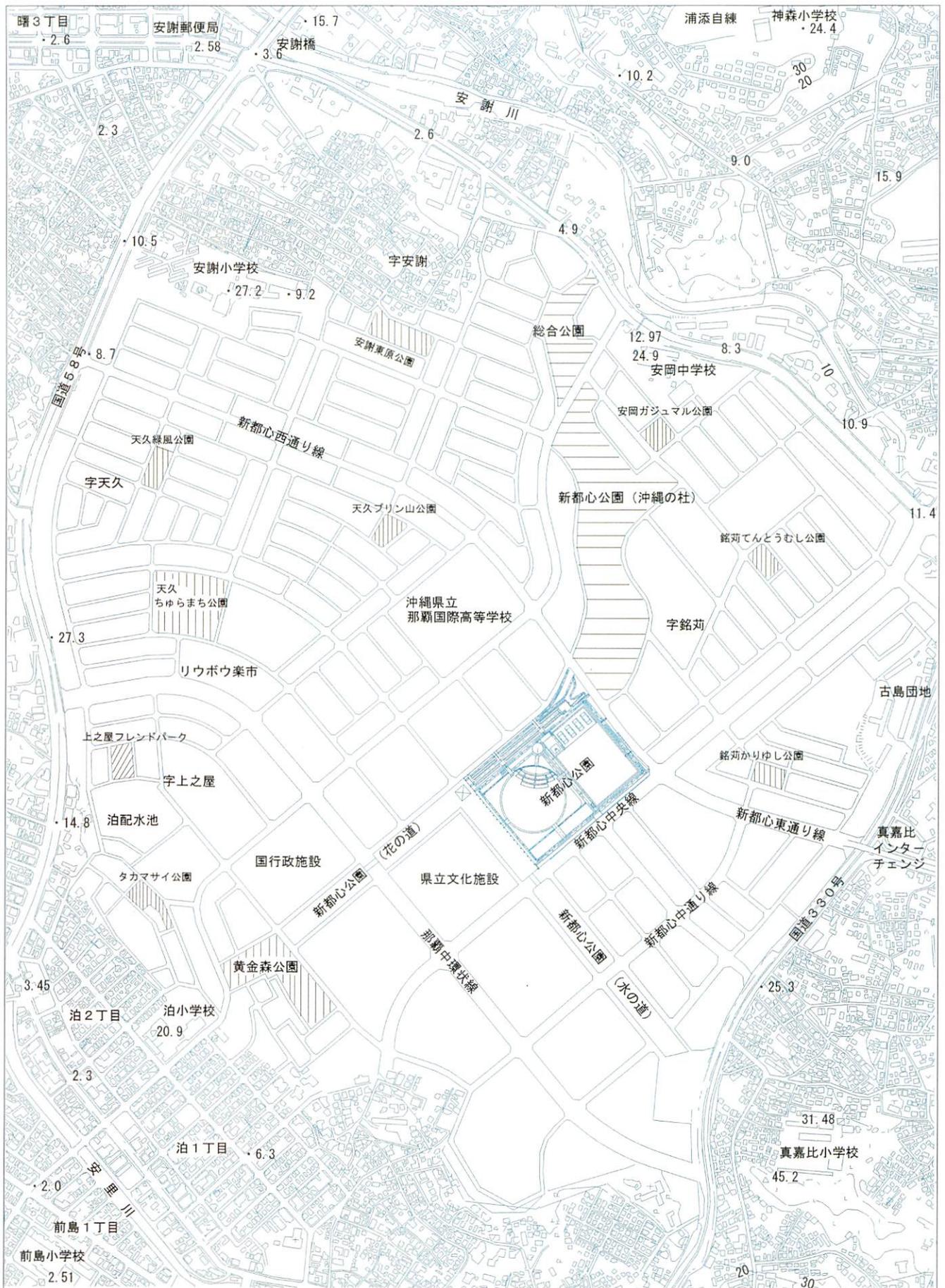
5基の墓で構成される古墓群で、1999（平成11）年度と2002（平成14）年度に発掘調査が実施されています。僅かな基数の調査でしたが、銘苧古墓群北地区において唯一、亀甲形式と考えられる墓が確認でき、那覇新都心地区の近世琉球における古墓群の成立を考察する上で大きな成果でした。

3. おわりに

各遺跡の詳細は、発掘調査報告書としてまとめられています。区画整理事業や公園整備事業が進んだ現在の那覇新都心の景観は、町並みの変容が著しく昔日の景観は見られません。新たな都市の姿として発展、変化し続けるその中で、唯一往時の景観がうかがえる場所として、現地保存（銘苧古墓群南B地区の一部と伊是名殿内の墓）された一面を含む新都心公園の中に見て取れます。一度、新しいまちのなかの静かな竹まいを訪ねてみてはいかがでしょうか。



第1図 那覇市の位置と那覇新都心地区の位置



第2図 新都城内公園位置図 (S=1/10,000) 花とみどり課より提供

銘苅古墓群南G地区



遺跡遠景（北西から）



第23号墓室実測作業状況



第24号墓全景（伊是名殿内の墓）

銘苅原遺跡



遺物包含層検出状況（北から）



C94グリッド北壁（南東から）



左：土器（碗形、鉢形、鍋形）

右：白磁玉縁口縁碗

青磁鎬蓮弁文碗、青磁雷文帯碗

銘苅原南遺跡

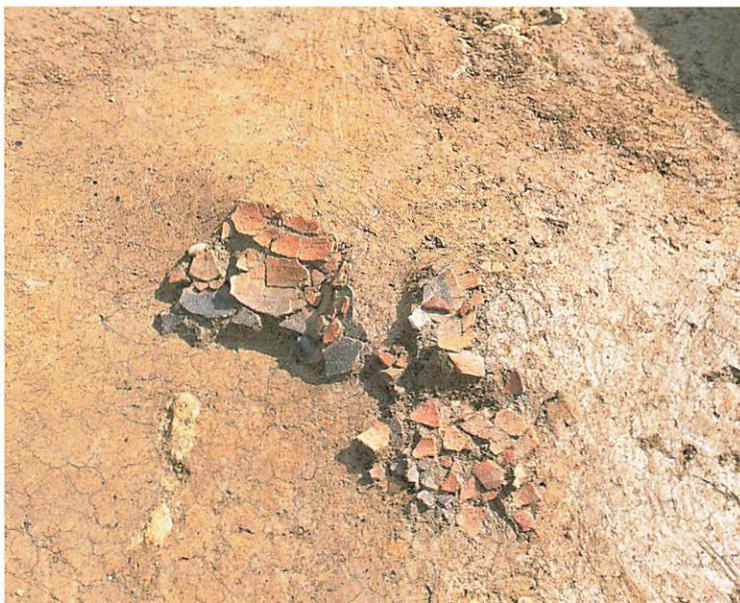
遺跡遠景（南西から）



包含層検出状況（北から）



N 8 グリッド土器出土状況



銘苅直禄原遺跡



遺跡近景（西から）



木製品（鉋の柄）出土状況



左：木製品（杭）
右：木製品（木筒状製品）

銘苧港川原遺跡



調査作業状況



調査作業状況



層序堆積状況 (F 87西壁)

銘苧古墓群北D地区



調査地全景（北東から）



第27～33号墓（南東から）



第33号墓墓室内蔵骨器配置状況及びシルハラシドゥクマ人骨検出状況

銘苧古墓群北E地区

発掘調査区近景



第5号墓作業状況



測量作業状況





発行/那覇市教育委員会 〒900-8553 沖縄県那覇市樋川2-8-8
電話 (098) 891-3501
編集/那覇市教育委員会文化財課
印刷/ サン印刷